

事務事業評価事業一覧表(令和5年度決算)

一般会計

事務事業番号	款 項		事業名	担当部署	事業の評価	ページ
	商工費	商工費	商工振興費			
07010101	創業促進・商業にぎわい事業			商業振興課	A	293
07010102	中小企業振興資金貸付金			商業振興課	A	294
07010103	小規模企業経営改善資金貸付金			商業振興課	A	295
07010104	中小企業協同化資金貸付金			商業振興課	A	296
07010105	中小企業機械等購入資金貸付金			商業振興課	A	297
07010106	店舗近代化設備資金貸付金			商業振興課	A	298
07010107	中小企業環境保全施設資金貸付金			商業振興課	B	299
07010108	小規模企業経営改善資金信用保証料補給金			商業振興課	A	300
07010109	中小企業振興事業			商業振興課	A	301
07010110	中小企業人材育成補助			工業・雇用振興課	A	302
07010111	苫小牧地域産業力強化補助			工業・雇用振興課	A	303
07010112	地方創生地域コミュニティ活性化支援事業			商業振興課	B	304
07010113	とまなか産業発展・創出事業			工業・雇用振興課	A	305
07010114	苫小牧イノベーション活性化事業			工業・雇用振興課	A	306
07010115	苫小牧市事業承継推進事業			商業振興課	A	307
07010116	ぶらっとみなと市場施設整備事業			商業振興課	B	308
07010117	事業継続支援事業2023			商業振興課	A	309
07010118	高圧・特別高圧電気料金高騰対策支援事業			工業・雇用振興課	B	310
07010119	事業継続支援事業2023(第2弾)			商業振興課	A	311
07010201	商工費	商工費	企業立地推進費			
07010201	苫小牧港管理組合負担金			港湾・企業振興課	A	312
07010202	企業立地振興条例助成			港湾・企業振興課	A	313
07010203	苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会負担金			港湾・企業振興課	A	314
07010204	立地企業サポート事業			港湾・企業振興課	A	315
07010205	苫小牧港PR促進事業			港湾・企業振興課	A	316
07010206	テクノセンター機器整備事業			テクノセンター	A	317
07010207	苫小牧クルーズ振興協議会補助			港湾・企業振興課	A	318
07010208	苫小牧市テクノセンター機器等整備基金積立金			テクノセンター	A	319
07010209	テクノセンター施設整備事業			テクノセンター	B	320
07010210	テクノセンターゼロカーボン事業			テクノセンター	B	321
07010211	次世代半導体関連企業PR事業			港湾・企業振興課	A	322
07010301	商工費	商工費	観光費			
07010301	港まつり事業			観光振興課	A	323
07010302	スケートまつり事業			観光振興課	A	324
07010303	観光振興ビジョン推進事業			観光振興課	A	325
07010304	ウトナイ交流センター補償金			観光振興課	A	326
07010305	ウトナイ交流センター電気料金高騰支援補償金			観光振興課	A	327

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010101

事業名			創業促進・商業にぎわい事業			担当部署		産業経済部 商業振興課			
根拠法令			苫小牧市商店街の活性化に関する条例								
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算		R5年度決算		R6年度当初予算		項目評価		総合評価 A
	予算・決算額(A)		18,517		13,965		22,664		有効性 公平性 効率性		
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他	11,100	11,167	14,300						
		一般財源	7,417	2,798	8,364						
	人件費(B)		4,373		4,373		4,373				
事業費計(A+B)		22,890		18,338		27,037					
事業の目的			市内商店会における商店街振興策の実施促進、商店会店舗の魅力向上、空き店舗の活用、創業者への支援等によって、市内商店街の活性化を図ります。								
事業の内容			1 イベント・環境整備等助成事業 商店会が行う環境整備（花壇整備等）や加入促進、イベント開催など商店街活性化に係る事業等の経費の一部を助成します。								
SDGs17の目標			2 店舗改装費補助事業 市内全域の店舗を対象に、自店舗の魅力向上又は来店者の増加に繋がるような改装工事を市内施工業者を利用して行う者に対し、その費用の一部を補助します。								
8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任			3 空き店舗活用事業 商店街の空き店舗を活用して、集客に役立つ施設や創業者が活用する施設等を開設する場合、家賃や移転改装費の一部を補助します。								
			4 創業サポート事業 創業計画から創業後の経営基盤の強化まで一貫したフォローを行い、本市の経済を担う新たな中小企業者の育成を図ります。								
			5 空き店舗調査業務 空き店舗活用を促進するため、空き店舗の調査業務を委託し、市内全域の商店会に存在する空き店舗情報を、市ホームページに掲載します。								
実施結果 (活動指標)			指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度		
			イベント・環境整備等助成金			件	18	26	17		
			空き店舗活用事業			件	17	15	14		
			創業サポート事業補助金			件	23	34	21		
項目評価			高 → 低				評価の理由				
			4	3	2	1					
有効性			●				イベント支援やIT化支援、環境整備支援など、商店街の営業継続に対し有効に活用されたため、「4」としました。				
効率性			●				各補助金の申請を受け付けた際に、別で活用できる補助金がある場合は併せて案内したことから、「4」としました。				
公平性			●				事業の実施時は、各商店会や関係団体への周知、会報への掲載、市広報誌やホームページ、フェイスブック等による周知を十分に行い公平性に配慮したことから、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性			助成・補助件数は堅調に推移しており、各商店会や事業者等のニーズに沿った事業内容であると考えます。今後も社会状況や地域課題の変化に対応した効果的な振興策を実施するため、適宜見直しを行うとともに、広く周知を図っていきます。							事業終了の 予定の有無	
										無	
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010102

事業名		中小企業振興資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課		
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例					
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	有効性 公平性 効率性	総合評価 A
	予算・決算額(A)	308,000	306,800	850,000			
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他	308,000	306,800	850,000			
	一般財源						
人件費(B)	429	429	429				
事業費計(A+B)	308,429	307,229	850,429				
事業の目的		中小企業者等に対し、事業活動に必要な運転資金及び設備資金の融資の円滑化を図ることにより、経営基盤の強化及び経営の安定化を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう		1 融資対象 市内に独立した事業所を有し、かつ、市税を完納している中小企業者等 2 融資金額 運転資金：4,000万円以内、設備資金：4,000万円以内 3 融資利率 1年以内：年1.3%、1年超5年以内：年1.9%、5年超：年2.0% 4 融資期間 運転資金：10年以内、設備資金：12年以内 ※対象業種 北海道信用保証協会対象業種					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		融資金額	千円	878,040	708,300	611,300	
		融資件数	件	58	53	41	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				本資金は、市内中小企業者に広く活用されていることから、「4」としました。	
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。	
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		本資金は市内中小企業者に広く活用されており、コロナ禍における市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無 無
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。					

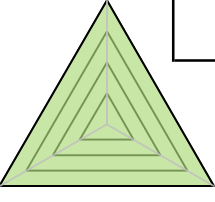
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010103

事業名		小規模企業経営改善資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課		
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例					
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	900,000	900,000	900,000	有効性  公平性 効率性	A	
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他	900,000	900,000	900,000			
	一般財源						
人件費(B)	429	429	429				
事業費計(A+B)	900,429	900,429	900,429				
事業の目的		小規模企業者等に対し、事業活動に必要な資金調達の融資の円滑化を図り、経営の安定に資することを目的とします。					
事業の内容 SDGs17の目標		1 融資対象 常時使用する従業員数50人以下の会社及び個人で、市内に独立した事務所があり、かつ市税を完納していること 2 融資金額 運転資金：2,000万円以内、設備資金：2,000万円以内 3 融資利率 1年以内：年0.9%、1年超：年1.5% 4 融資期間 運転資金：7年以内、設備資金：15年以内 5 その他 資本金の額が1,000万円以下かつ、常時使用従業員数が20人（宿泊業及び娯楽業を除く商業、サービス業にあたっては5人、医療を主業とする法人にあたっては20人）以下の小規模企業者への信用保証料補給制度対象資金。（上限30万円） ※対象業種 北海道信用保証協会対象業種					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
		融資金額		千円	1,735,010	1,288,640	612,400
		融資件数		件	182	148	85
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				本資金は、市内小規模企業者に広く活用されていることから、「4」としました。	
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。	
公平性		●				市内小規模企業者を広く対象としていることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		本資金は市内小規模企業者に広く活用されており、コロナ禍における市内小規模企業者の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無 無
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。					

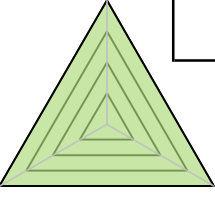
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010104

事業名		中小企業協同化資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課					
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例								
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価				
	予算・決算額(A)	80,000	80,000	80,000	有効性  公平性 効率性	A				
	(A)の内訳									
	国道支出金									
	地方債									
	その他	80,000	80,000	80,000						
	一般財源									
人件費(B)	215	215	215							
事業費計(A+B)	80,215	80,215	80,215							
事業の目的		中小企業者等の組合及び構成員の事業に必要な資金を融資することを目的とします。								
事業の内容 SDGs17の目標		 8 働きがいも経済成長も  9 産業と技術革新の基盤をつくろう 1 融資対象 事業協同組合、企業組合、商店街振興組合、協業組合、生活衛生同業組合等及び構成組合員である中小企業者を対象とします。 2 融資条件 商工組合中央金庫の定めるところによります。 3 申込場所 商工組合中央金庫札幌支店（代理店は北央信用組合の市内支店）								
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
		融資金額		千円	1,125,000	1,798,000	1,920,000			
		融資件数		件	23	28	33			
項目評価		高 → 低		評価の理由						
		4	3					2	1	
		有効性	●				本資金は、市内中小企業者における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。			
		効率性	●				事業費の大半は商工中金札幌支店への預託金ですが、翌年度当初に全額回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。			
公平性	●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		本資金は市内中小企業者における資金調達の一翼を担っており、コロナ禍における市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も商工中金札幌支店と連携し、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無			
							無			
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010105

事業名		中小企業機械等購入資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課		
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例					
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価 A
	予算・決算額(A)	9,000	1,600	40,000			
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他	9,000	1,600	40,000			
	一般財源						
人件費(B)	215	215	215				
事業費計(A+B)	9,215	1,815	40,215				
事業の目的		中小企業者等の設備の近代化、合理化を促進するために必要な機械等の購入資金を融資することにより、中小企業者等の振興、育成を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標		1 融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同一事業を営み、かつ、市税を完納している中小企業者等 2 資金使途 設備資金：生産、加工、試験または検査に使用する機械等の設置 3 融資金額 2,000万円以内 4 融資利率 年1.6% 5 融資期間 10年以内 ※対象業種 北海道信用保証協会対象業種					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		融資金額	千円	0	0	6,690	
		融資件数	件	0	0	2	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				本資金は、市内中小企業者の機械等設備投資における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。	
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。	
公平性			●			市内中小企業者等のうち、機械等の設備投資を行う事業者に限定していることから、「3」としました。	
事業の課題 今後の方向性		本資金は、機械等の設備投資を行う市内中小企業者における資金調達の一翼を担っており、コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小企業者等の資金需要に対し必要な事業であることから、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010106

事業名		店舗近代化設備資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課		
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例					
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価 A
	予算・決算額(A)	49,000	27,800	70,000			
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他	49,000	27,800	70,000			
	一般財源						
人件費(B)	215	215	215				
事業費計(A+B)	49,215	28,015	70,215				
事業の目的		中小商業者の店舗近代化に必要な資金を融資することにより、中小商業経営の近代化促進と地域の景観整備に貢献し、その振興を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標		1 融資対象 市内中小商業者のうち、常時使用する従業員の数が50人以下の物販小売業・飲食店を営む企業及び事業協同組合等 2 資金使途 (1) 店舗の新築、増改築資金 (2) 組合が行う共同店舗建設資金 (3) テナント入店に要する内装設備資金 (4) 不動産等購入資金 3 融資金額 1 企業5,000万円以内、1 組合8,000万円以内（テナント入店資金2,000万円以内） 4 融資利率 年1.4% 5 融資期間 15年以内 ※対象業種 北海道信用保証協会対象業種					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		融資金額	千円	50,000	0	20,000	
		融資件数	件	1	0	1	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				本資金は、市内中小商業者の設備投資における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。	
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。	
公平性			●			市内中小企業者等のうち、店舗の新築・増改築資金等の設備投資を行う中小商業者に限定していることから、「3」としました。	
事業の課題 今後の方向性		本資金は、店舗新築等の設備投資を行う市内中小商業者における資金調達の一翼を担っており、コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小商業者の資金需要に対し必要な事業であることから、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010107

事業名			中小企業環境保全施設資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令			苫小牧市中小企業振興条例							
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算		R5年度決算		R6年度当初予算		項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)		15,000		0		60,000		有効性 公平性 効率性 B	
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他		15,000		60,000				
		一般財源								
	人件費(B)		215		215		215			
事業費計(A+B)		15,215		215		60,215				
事業の目的			中小企業者等が、その事業活動に伴って発生する公害を処理又は防止するための施設整備資金、環境への負荷の低減や環境の保全に資するための施設整備資金を融資することにより、環境保全対策の推進を図り、市民の生活環境を向上させ、中小企業者等の振興を図ります。							
事業の内容			1 融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同じ事業を営み、市税を完納している中小企業及び関係法令により設立許可を受けた組合等							
SDGs17の目標			2 融資金額 設備資金/移転資金 1件につき3,000万円以内 ・公害防止又は改善のために必要な機械等の購入及び施設の設置に要する経費 ・公害防止のため工場等を移転するための建設、設置等に要する経費 ・産業廃棄物の処理、資源化、再利用のための施設の設置・改善に要する経費 ・二酸化炭素排出量の削減に有効な施設等を導入する経費 ・再生可能エネルギーを活用する施設を導入する経費 次世代自動車導入資金 1企業につき2,000万円以内 ・次世代自動車(電気自動車、ハイブリット車、天然ガス車等)の購入経費及びその燃料供給施設設置経費							
			3 融資利率 年1.3%							
			4 融資期間 10年以内							
			※対象業種 北海道信用保証協会対象業種							
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
			融資金額		千円	0	0	0		
			融資件数		件	0	0	0		
項目評価			高 → 低		評価の理由					
			4 3 2 1							
有効性					本資金は、市内中小企業者の公害防止設備等の設備投資における資金調達の一翼を担っているものの、融資件数0件が続いていることから、「2」としました。					
効率性			●		事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。					
公平性			●		市内中小企業者等のうち、公害防止設備等の設備投資を行う事業者に限定していることから、「3」としました。					
事業の課題 今後の方向性			本資金は、公害防止やゼロカーボンに向けた環境負荷低減の設備投資を行う市内中小企業者の資金調達の一翼を担っていると同時に、アフターコロナや物価高騰等の影響下における事業者にとって、より実用性の高い事業となるよう、事業内容の見直し含め今後も市内金融機関と連携した取組が必要と考えています。						事業終了の 予定の有無	
									無	
特記事項			決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010108

事業名		小規模企業経営改善資金信用保証料補給金		担当部署	産業経済部 商業振興課		
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例					
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		
	予算・決算額(A)	26,000	23,778	20,000			
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	26,000	23,778	20,000			
人件費(B)	429	429	429				
事業費計(A+B)	26,429	24,207	20,429				
事業の目的		小規模企業経営改善資金を借入れたときに、北海道信用保証協会へ支払う信用保証料を補給することにより、小規模企業者等の健全な経営に資することを目的とします。					
事業の内容 SDGs17の目標		1 信用保証料の補給対象 ・ 資本金の額が1,000万円以下、かつ、常時使用する従業員の数が20人（宿泊業及び娯楽業を除く商業及びサービス業にあたっては5人、医業を主たる事業とする法人は20人）以下の会社又は個人 ・ 小規模企業経営改善資金に限定 ・ 運転資金と設備資金の資金使途ごとに区分して、それぞれ適用 2 信用保証料の限度額 運転資金及び設備資金、それぞれ30万円を限度に補給 3 信用保証料の補給金の返納 信用保証料の補給を受けた小規模企業者が、一部又は全部を繰上返済したことにより約定貸付期間が繰り上がり、北海道信用保証協会から信用保証料の返戻を受けたときは、小規模企業者が負担した信用保証料を差し引いた、その返戻分について、市長へ返納するものとします。					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		補給金額	千円	23,778	18,869	10,309	
		補給件数	件	136	116	85	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●					本事業は、小規模企業経営改善資金を借り入れた市内小規模企業者に広く活用されていることから、「4」としました。
効率性		●					事業費の大半は信用保証料の補給金ですが、必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
公平性			●				小規模企業経営改善資金を借り入れた市内小規模企業者のみを対象としていることから、「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		本事業により、小規模企業者が小規模企業経営改善資金を借り入れた際に発生した信用保証料を補給することによって、事業者の資金繰りに重要な役割を果たしているものです。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無 無
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010109

事業名			中小企業振興事業		担当部署	産業経済部 商業振興課		
根拠法令			苫小牧市中小企業振興条例					
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価
	予算・決算額(A)		1,922	1,000	1,324	有効性 公平性 効率性		A
	(A)の内訳	国道支出金	700					
		地方債						
		その他	700	700	700			
		一般財源	522	300	624			
	人件費(B)		3,576	3,576	3,576			
事業費計(A+B)		5,498	4,576	4,900				
事業の目的			中小企業振興条例及び第二次中小企業振興計画に基づき、中小企業者のニーズや抱えている課題等を把握し、計画の三本柱である「創業及び事業承継の推進」「人材確保及び人材育成の強化」「事業継続のための経営基盤の強化・販路拡大の推進」につながる施策を継続的に実施し、振興を図ります。					
事業の内容			SDGs17の目標					
8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任			1 中小企業振興審議会 第6期苫小牧市中小企業振興審議会を立ち上げるとともに、同審議会及び意見交換の場において、第二次計画の進捗管理や、中小・小規模事業者の振興に係る支援策について審議し、課題の抽出等を行いました。 2 中小企業振興セミナーの開催 中小企業振興条例、第二次中小企業振興計画の周知及び計画推進のため、市内中小企業者を対象としたセミナーを実施しました。 令和5年度は、中小事業者や創業希望者のICT利活用促進とICTコミュニティの形成を目的に「苫小牧市ICT推進コミュニティ創出事業」を実施し、ウェブメディアの利活用についてなどのセミナーを、平日昼の部及び休日夜の部の2部制にて計11回実施しました。					
実施結果 (活動指標)			指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
			中小企業振興審議会	回	4	4	4	
			中小企業振興セミナー参加者（延べ人数）	人	65	91	214	
項目評価			高 → 低	評価の理由				
			4 3 2 1					
有効性			●			本事業では、市の中小企業振興事業の方向性を定める中小企業振興審議会を開催すると共に、ニーズに応じて中小企業推進事業を継続的に実施しており、市の中小企業施策の中心を担っていることから、「4」としました。		
効率性			●			事業費の大半が審議会委員への報酬と中小企業振興事業に係る委託料であり、必要最低限の経費で各種事業を展開しているため、「4」としました。		
公平性			●			審議会は中小企業振興条例に基づき、中小企業団体を中心に有識者や市民等幅広い人材で構成され実施していることから、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性			市内中小・小規模事業者の振興に向け、中小企業振興条例に基づく中小企業振興審議会等により、有効な市の支援策について継続的に審議・議論し、ニーズに応じた中小企業推進事業を継続的に実施してまいります。					事業終了の 予定の有無
								無
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010110

事業名		中小企業人材育成補助		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課	
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	744	293	744		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	744	293	744		
人件費(B)	715	715	715			
事業費計(A+B)	1,459	1,008	1,459	公平性	効率性	
事業の目的		中小企業大学校旭川校など、独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催する研修事業に従業員等を受講させる場合、中小企業人材育成補助金を交付し、中小企業の人材育成の促進を図ります。				
事業の内容 SDGs17の目標		中小企業の事業主が経営力・技術力強化のため、従業員等を受講させた中小企業大学校旭川校などの講座受講料の一部を補助しました。また、市内でサテライトゼミを開催し、6人が参加しました。 1 補助要件 (1) 本市に事業所又は事務所がある中小企業者であること (2) 本市の市税に滞納がないこと (3) 独立行政法人中小企業基盤整備機構の主催する研修事業を受けること 2 補助上限額 (1) 市外開催 2万円 (2) 市内開催 WEB開催 1万5千円 ※受講料が上限額を超えない場合はその実額 1事業所につき、年間10万円上限としています。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度
		研修受講人数	人	15	27	27
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●	本事業は市内企業の人材育成・経営基盤の強化に寄与しているものの、即効性の高い事業ではないため、「3」としました。			
効率性		●	市内のサテライトゼミを開催し、旭川大学校での受講より、事業者の距離的・時間的負担の軽減を図っていることから、「4」としました。			
公平性		●	市内に事業所又は事務所がある中小事業者を広く対象としていることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		中小企業の事業継続・発展のためには人材育成が必要不可欠です。研修の受講の周知を図り、人材育成の促進を図ってまいります。				事業終了の 予定の有無 無
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010111

事業名		苦小牧地域産業力強化補助		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課	
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	500	500	500		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	500	500	500		
人件費(B)	72	72	72			
事業費計(A+B)	572	572	572			
事業の目的		自社のみでは解決できない課題を抱える中小企業に、（公財）道央産業振興財団の利用拡大・促進を図り、企業の課題を把握するとともに財団が持つ産学官金ネットワークを活用し、国・道・市などが実施する各種制度の活用を支援し、苦小牧地域の産業技術の高度化を図ります。				
事業の内容		SDGs17の目標 （公財）道央産業振興財団が行う次の事業に対し、苦小牧地域産業力強化補助金を交付しました。 1 地域産業支援事業 財団が取り組んでいる各種支援制度について、リーフレットを作成し、商工会議所の会員に送付するなど積極的な周知活動を行い、活用促進につなげました。 2 産学官金連携事業 複雑化する企業課題に対応するため、各種補助金制度の活用支援や最新の技術や制度の情報収集・共有に努め、産学官金の連携を強化した企業支援に取り組みました。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度
		説明会参加企業数	社	9	10	9
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●	財団の広報活動を支援し、地域の産学官金連携を推進することは、苦小牧地域の産業力強化に繋がりますが、即効性の高い事業ではないことから、「3」としました。			
効率性		●	豊富な知識や広い人脈を持つコーディネーターを有する財団の周知を図ることは、効率的な市内中小企業の支援に繋がることから、「4」としました。			
公平性		●	苦小牧地域の技術の高度化のため、市内中小企業へ財団の周知・利活用を促進したことから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		引き続き、財団の利活用や産学官金連携事業を推進してまいります。				事業終了の 予定の有無 無
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010112

事業名		地方創生地域コミュニティ活性化支援事業		担当部署		産業経済部 商業振興課	
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)		28,783	27,841	29,149	有効性 公平性 効率性 B	
	(A) の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他	27,300	27,117	27,600		
		一般財源	1,483	724	1,549		
	人件費(B)		3,576	3,576	3,576		
事業費計(A+B)		32,359	31,417	32,725			
事業の目的		地域完結型のポイントを活用することにより本市地域内での消費活動を循環させることで、本市経済の活性化を図ることを目的としています。					
事業の内容		地方創生地域コミュニティ活性化支援補助金交付要綱及び苫小牧市とまチョップポイント付与等に関する要綱に基づき、苫小牧市限定の地域完結型ポイントを活用する事業を支援する事業です。 とまチョップポイントサービスの実施主体は、令和2年度から㈱オーティスが運営を担っております。 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 1 実施主体の業務 (1) 加盟店の開発 (2) 加盟店に対するフォローアップ (3) 加盟店や市が発行したポイントの管理・精算 (4) 利用促進のためのイベントの企画・運営 (5) ポイントシステムの導入 【令和5年度補助】 5,224千円 2 市の取組 (1) イベント等でのポイント発行 (2) 広報とまこまい、ホームページ等を活用した事業の周知 【令和5年度実績】 22,000千円（役務費 手数料）					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
		加盟店数（年度末時点）		店	151	152	165
		カード発行枚数（累計）		枚	63,422	62,666	61,476
		アプリダウンロード数（累計）		件	10,889	7,980	-
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性				●		カード発行枚数とアプリダウンロード数は増加しているものの、加盟店数については、3年連続で減少したため、「2」としました。	
効率性				●		スタンプラリーやヘルスケアなど、様々な取組を実施していますが、目標数値を達成できていない状況が続いているため、「2」としました。	
公平性		●				老若男女問わず全市民を対象としたポイントサービスのため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		市の中小企業創業サポート事業補助金の支給対象要件に「とまチョップポイント加盟店になること」を加え、加盟店の増加を図ってまいります。あわせて、これまでの事業効果について検証してまいります。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010113

事業名		とまなか産業発展・創出事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価		
	予算・決算額(A)	3,800	3,800	3,800		A		
	(A)の内訳							
	国道支出金							
	地方債							
	その他	3,600	3,600	3,600				
	一般財源	200	200	200				
人件費(B)	143	143	143					
事業費計(A+B)	3,943	3,943	3,943					
事業の目的		苫小牧工業高等専門学校と締結した「連携及び協力に関する協定」をもとに、苫小牧高専と協働で中小企業等が抱える課題の解決や、新規事業化の支援を行い、ものづくり産業の活性化を図ります。						
事業の内容		SDGs17の目標 C-base運営協議会負担金 平成30年10月に開設した、苫小牧市、苫小牧高等工業専門学校、苫小牧商工会議所で運営する技術経営相談窓口「C-base」では、苫小牧高専教員（コーディネータ）が市内の各支援機関と協力しながら中小企業等が抱える課題の解決にあたっています。各支援機関の分野の異なる専門家と連携しながら、多様な課題に対応し、産業振興を図るため、C-base運営協議会へ負担金を支出しました。						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		技術相談件数		件	72	63	84	
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
		有効性	●				C-baseでは、市内企業の技術相談のほか、補助金の申請支援、転職等に関する相談をととして産業の振興に寄与したことから、「4」としました。	
		効率性	●				市、苫小牧高専、商工会議所が市内企業の技術相談窓口であるC-baseを協力して運営しており、効率的に中小企業の技術力向上を支援していることから、「4」としました。	
		公平性		●			中小企業の技術力向上を支援し、ものづくり産業の活性化を図ることは、苫小牧地域全体の産業振興に寄与することから、「3」としました。	
事業の課題 今後の方向性		C-baseを拠点に企業の課題解決や共同研究や製品開発などに繋げていくことで、企業の技術力の向上・高度化を図ります。また、企業の交流や情報交換の場などたまり場としての活用を促進してまいります。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号

07010114

事業名		苫小牧イノベーション活性化事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価 A		
	予算・決算額(A)	8,065	6,713	8,065					
	(A)の内訳								
	国道支出金								
	地方債								
	その他	7,600	6,713	7,600					
	一般財源	465		465					
人件費(B)	715	715	715						
事業費計(A+B)	8,780	7,428	8,780						
事業の目的		課題解決や新規事業の創出に向けて、先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等を支援し、市内において新技術等を導入する機運の醸成や産業の活性化を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標		課題解決や新規事業の創出に向けて、先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等に対し、苫小牧イノベーション活性化事業補助金を交付しました。 (補助率：中小企業等 3/4 大企業 2/3 上限200万円) 採択事業（5件採択） 「小型船舶の省エネルギーに寄与する船型設計の実現」 「リビルト事業向け洗浄技術の向上ウェットブラスト工法の導入」 「新冷房システムによる収益性の高い夏秋イチゴ増産計画」 「ジオポリマーバインダーを用いた環境配慮型無機質建材板の製造技術の開発」 「工業的熱源としての太陽集熱器の活用」							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
		補助事業数		件	5	3	4		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性			●			苫小牧地域における先進的な技術やアイデアを導入し、課題の解決や新規事業の創出を図り産業の活性化に寄与したと考えますが、即効性がある事業ではないため、「3」としました。			
効率性		●				(公財)道央産業振興財団や苫小牧高専サテライト「C-base」、市テクノセンター等の関係機関と連携し実施したことから、「4」としました。			
公平性		●				事業の募集にあたり、C-baseや財団等と連携し、より多くの市内事業者へ周知を図っていきたいと考えていることや先着順ではなく、審査により採択者を決定していることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		市内産業の活性化を図る事業として目的に合った事業を実施しております。今後も、地域への波及効果が見込まれる効果的な事業を支援してまいります。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

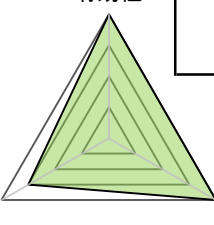
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010115

事業名			苫小牧市事業承継推進事業		担当部署	産業経済部 商業振興課			
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)		5,393	5,393	2,044	有効性  公平性 効率性		A	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	5,393	5,392					
		一般財源		1	2,044				
	人件費(B)		2,145	2,145	2,145				
事業費計(A+B)		7,538	7,538	4,189					
事業の目的			人口減少と少子高齢化に伴い、中小企業等における経営者の高齢化が進み休廃業や解散の増加が予想されることから、中小企業等における事業承継を推進し、本市経済の活性化を図ることを目的としています。						
事業の内容			事業譲渡、株式譲渡などにより、親族・役員・従業員以外の第三者に経営権を譲渡し事業承継をした市内の中小・小規模事業者に対して100万円を給付します。 SDGs17の目標 8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任 《対象要件》 1 市内で事業を営む中小企業者等のうち、事業譲渡時に法人税の納税地が苫小牧市であった法人の経営者又は市内に住民登録のある個人事業主 2 法人税の納税地が苫小牧市である法人又は市内に住民登録のある個人事業主に対し、第三者承継を完了した者 3 市内金融機関及び北海道事業承継・引継ぎ支援センターからの支援を受けて事業承継を完了した者 4 株式譲渡契約により事業承継を行った者は、譲渡事業者及び譲受事業者双方が市内で引き続き1年以上事業を営むこと。事業譲渡契約により事業承継を行った者は、譲受事業者が、譲渡事業者の事業を市内で引き続き1年以上営むこと。 5 市税を滞納していない者（ただし、納税課と分割納付協議にて猶予中の者を含む） 6 事業承継後、1年以内であること						
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
			給付件数		件	5	2	2	
項目評価			高 → 低		評価の理由				
			4	3					2
有効性			●			令和5年度の給付目標件数5件を達成したため、「4」としました。			
効率性			●			企業版ふるさと納税を原資とし、市内金融機関及び北海道事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業のため、「4」としました。			
公平性				●		全ての事業承継のケースを対象とせず、第三者承継に限定していることから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性			地域経済の発展のため、今後も関係機関と連携して取り組んでまいります。						事業終了の 予定の有無
									無
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010116

事業名		ぶらっとみなと市場施設整備事業		担当部署		産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市商店街の活性化に関する条例								
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		1,870	1,859	10,107	有効性 公平性 効率性	B			
	(A) の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他	1,870	1,859	6,862					
		一般財源			3,245					
	人件費(B)		3,576	3,576	3,576					
事業費計(A+B)		5,446	5,435	13,683						
事業の目的		ぶらっとみなと市場の魅力向上につながる施設整備のほか、建設から50年以上経過していることによる建物の劣化状況の調査等を行うことで、漁港エリアの賑わいを創出する商業施設として今後も適正に維持管理することを目的とします。								
事業の内容		SDGs17の目標 8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任 施設整備に係る業務等 1 建物外部等修繕 A棟及びB棟において、老朽化等により破損している窓ガラス、窓サッシ、ドア枠等の修繕を実施しました。 2 漏電調査業務 老朽化している電力設備に対して緊急的に調査を実施しました。								
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
		来場者数（組合による集計値）		人	1,302,035	1,297,186	480,564			
項目評価		高 → 低		評価の理由						
		4	3					2	1	
		有効性	●				老朽化に伴う必要な修繕を適宜実施し、本施設が漁港エリアの賑わい創出に大きく寄与していることから、「4」としました。			
		効率性		●			建物や設備等の老朽化により、突発的な修繕が生じた事例が度々あったことから、「3」としました。			
公平性		●			市内の商店街のうち、ぶらっとみなと市場を運営する「商業協同組合苫小牧港市場」に対する事業のため、「3」としました。					
事業の課題 今後の方向性		本施設は、漁港エリアを代表する商業施設として市内外からの認知度も高く、今後も地元住民や観光客など多くの誘客が見込める施設の一方で、建物や設備等の老朽化が進んでいることから、オープンで清潔な空間の創出に向けた再整備を推進していきます。					事業終了の 予定の有無			
							無			
特記事項										

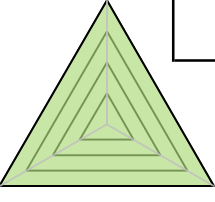
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010117

事業名		事業継続支援事業 2023		担当部署	産業経済部 商業振興課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	168,362	167,515	-	有効性  公平性 効率性	A	
	(A)の内訳						
	国道支出金	160,000	160,000				
	地方債						
	その他	7,011	7,011				
	一般財源	1,351	504				
人件費(B)	6,721	6,721	-				
事業費計(A+B)	175,083	174,236	-				
事業の目的		エネルギー価格・物価高騰等の影響は、市内中小・小規模事業者にも業種業態を問わず幅広く及んでおり、売上または利益が大幅に減少した事業者に対し、事業を継続するための緊急的な支援を実施することにより、市内中小・小規模事業者の休廃業を防ぐとともに、雇用維持につなげるための支援を行います。					
事業の内容 SDGs17の目標 		1 支給額 1事業者あたり、10万円を支給（1事業者につき1申請） 2 対象要件 ※(3)についてはどちらかひとつに該当すれば対象 (1) 資本金の額又は出資の総額が10億円未満であること 定めがない場合は、常時使用する従業員の数が2,000人以下であること (2) 法人：苫小牧市内に本店登記を行っている、もしくは法人税の納税地（本店または主たる事業所の所在地等）が苫小牧市であること 個人：住所または、所得税の納税地が苫小牧市であること (3) ア 令和5年4月から令和5年9月までの期間のうち、申請日の属する前月までに、ひと月の売上が前年または前々年同期比で30%以上減少した月があること イ 対象期間のうちのひと月の仕入れ額または経費が、平成31年4月から令和4年9月までのいずれか1年の同月を超え、かつ利益（売上－仕入れ額または経費）が10%以上減少していること ※過去に国や道、市が実施した給付金等の受給有無は問わない （過去の事業継続支援金を含む）					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
		交付金額		千円	166,600	-	-
		支援件数（事業者）		件	1,666	-	-
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				売上が大幅に減少した市内の中小、小規模事業者に対し幅広く支援金を給付し、事業の継続につながる支援を行うことができたため、「4」としました。	
効率性		●				事業費の大半は支援金であり、必要最低限の人件費のみで事業を展開できたため、「4」としました。	
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		本事業により、エネルギー価格・物価高騰等の影響を受けた事業者へ幅広く支援金を給付し、事業継続のための支援を行うことができました。					事業終了の 予定の有無 有 (令和5年度)
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010118

事業名		高圧・特別高圧電気料金高騰対策支援事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	40,739	40,448	-		B			
	(A)の内訳								
	国道支出金	39,000	39,000						
	地方債								
	その他								
	一般財源	1,739	1,448						
人件費(B)	10,161	10,161	-						
事業費計(A+B)	50,900	50,609	-						
事業の目的		電気料金の値上げにより大きな影響を受けている市内事業者に対し、電気料金の一部を支援することで、負担軽減を図り、経営に与える影響を緩和し、事業継続を支援します。							
事業の内容 SDGs17の目標		市内の店舗や工場、事務所やその他事業用施設で、高圧又は特別高圧契約により電力の供給を受けている事業者に対し、電力使用量に応じた支援金を支給しました。 1 支給額 ・ 上限額 1事業者当たり100万円 ・ 算出方法 1.5円/kWh×1か月分の使用電力量 (令和5年4月又は5月のうち任意の1か月分) 2 実施期間 令和5年6月から令和5年11月末まで 3 支援件数 254件							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度			
		支援金交付件数	件	254	-	-			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3				2	1	
		有効性	●				電気料金の値上げにより経営に多大な影響を受けている事業所に対し、使用量に応じた支援を行うことができたため、有効性については「4」としました。		
		効率性			●		高圧又は特別高圧の電力を契約している事業所を把握することが困難であり、ターゲットを絞った周知ができなかったため、効率性については「2」としました。		
公平性	●				業種や経営規模の大小に関わらず広く支援対象としたため、公平性については「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、原油価格・物価高騰対応分の交付金事業として、目的に適った事業を実施することができました。				事業終了の 予定の有無			
						有 (令和5年度)			
特記事項									

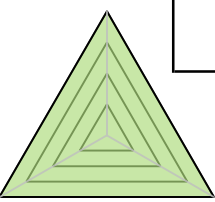
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010119

事業名		事業継続支援事業2023（第2弾）		担当部署	産業経済部 商業振興課	
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	201,000	175,232	-		A
	(A)の内訳					
	国道支出金	100,500	100,500			
	地方債					
	その他					
	一般財源	100,500	74,732			
人件費(B)	6,721	6,721	-			
事業費計(A+B)	207,721	181,953	-			
事業の目的		エネルギー価格・物価高騰等の影響は、市内中小・小規模事業者業種業態を問わず幅広く及んでおり、売上または利益が大幅に減少した事業者に対し、事業を継続するための緊急的な支援を実施することにより、市内中小・小規模事業者の休廃業を防ぐとともに、雇用維持につなげるための支援を行います。				
事業の内容 SDGs17の目標		 1 支給額 1事業者あたり、10万円を支給（1事業者につき1申請） 2 対象要件 ※(3)についてはどちらかひとつに該当すれば対象 (1) 資本金の額又は出資の総額が10億円未満であること 定めがない場合は、常時使用する従業員の数が2,000人以下であること (2) 法人：苫小牧市内に本店登記を行っている、もしくは法人税の納税地（本店または主たる事業所の所在地等）が苫小牧市であること 個人：住所または、所得税の納税地が苫小牧市であること (3) ア 令和5年10月から令和6年1月までの期間のうち、申請日の属する前月までに、ひと月の売上が前年または前々年同期比で30%以上減少した月があること イ 対象期間のうちのひと月の仕入れ額または経費が、平成31年10月から令和5年1月までのいずれか1年の同月を超え、かつ利益（売上一仕入れ額または経費）が10%以上減少していること ※過去に国や道、市が実施した給付金等の受給有無は問わない （過去の事業継続支援金を含む）				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度
		交付金額	千円	174,600	-	-
		支援件数（事業者）	件	1,746	-	-
項目評価		高 → 低 4 3 2 1	評価の理由			
有効性		●				売上が大幅に減少した市内の中小、小規模事業者に対し幅広く支援金を給付し、事業の継続につながる支援を行うことができたため、「4」としました。
効率性		●				事業費の大半は支援金であり、必要最低限の人件費のみで事業を展開できたため、「4」としました。
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		本事業により、エネルギー価格・物価高騰等の影響を受けた事業者へ幅広く支援金を給付し、事業継続のための支援を行うことができました。				事業終了の 予定の有無 有 (令和5年度)
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010201

事業名			苫小牧港管理組合負担金		担当部署		産業経済部 港湾・企業振興課		
根拠法令			苫小牧港管理組合規約						
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)		698,240	698,240	809,193	有効性 公平性 効率性		A	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	698,240	698,240	809,193				
	人件費(B)		10,011	10,011	10,011				
事業費計(A+B)		708,251	708,251	819,204					
事業の目的			苫小牧港の港湾整備に要する事業経費、苫小牧港管理組合の管理運営などに要する経費と港湾に係る収入、国の支出金等の収支不足分を苫小牧港管理組合規約に基づき、北海道と苫小牧市の負担金として持分負担します。						
事業の内容			SDGs17の目標 11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを保ち増やす ・東港区周文ふ頭複合一貫輸送ターミナルの整備（機能強化） ・東港区国際コンテナターミナルにおける荷役機械整備場の整備 ・本港地区内の埠頭間道路の整備 ・真古舞地区中央北ふ頭新岸壁背後荷さばき地の整備 ・東港区周文ふ頭複合一貫輸送ターミナルにおける岸壁等の整備（緊急物資輸送） ・東ふ頭、中央北ふ頭、中央南ふ頭、勇払ふ頭における岸壁の改良（老朽化対策） ・西港区の東防波堤の改良（老朽化対策） ・西港区元町地区及び勇払浜地区における離岸堤の改良（老朽化対策）						
SDGs17の目標									
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
			取扱貨物量（外貿）		千 t	16,322	15,791	16,034	
			取扱貨物量（内貿）		千 t	84,958	92,263	88,743	
			取扱貨物量（合計）		千 t	101,280	108,054	104,777	
項目評価			高 → 低		評価の理由				
			4	3					2
			有効性		●				港湾整備・管理運営により、苫小牧市・北海道の発展に大きく貢献していますので、「4」としました。
			効率性		●				効率的な港湾整備・管理運営が実施できていますので、「4」としました。
			公平性		●				公平性を保つよう十分に努めていますので、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性			・北海道・本州間における国内物流の機能強化や安定性確保に向けた整備が必要であり、国と連携して周文ふ頭の複合一貫輸送ターミナルの整備を推進します。 ・国際コンテナターミナルの機能強化に向けて、利用者ニーズを把握し、指定管理者や関係者と連携して取り組みます。 ・次世代エネルギー（水素・アンモニア等）の輸送や利活用など、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化などを通じて、温室効果ガス排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルポートの形成を目指します。						事業終了の 予定の有無
									無
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010202

事業名		企業立地振興条例助成		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課	
根拠法令		苫小牧市企業立地振興条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	
	予算・決算額(A)	326,809	322,609	280,097		
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他			167,091		
	一般財源	326,809	322,609	113,006		
人件費(B)	4,291	4,291	4,291			
事業費計(A+B)	331,100	326,900	284,388			
事業の目的		事業場の新設・増設、それに伴う新規雇用、緑化事業を行ったものに対し、助成金の交付を行い、もって地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図り、本市の発展に寄与します。				
事業の内容 SDGs17の目標		1 事業場設置助成金 事業場の新增設を行った企業に対し、2～3年分の固定資産税相当額を助成しました。 ※ 3年間に分割して交付します。 2 雇用助成金 事業場の新增設に伴う新規雇用に対し、1人につき30万円助成しました。 3 緑化助成金 事業場の新增設に伴う緑化工事に対し、緑化に要した費用の30%を助成しました。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度
		事業場設置助成金	千円	308,710	233,412	168,159
		雇用助成金	千円	11,400	13,800	10,500
		緑化助成金	千円	2,499	0	0
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				数多くの企業に活用いただいていますので、「4」としました。
効率性			●			企業立地振興条例に基づいた助成を実施していますので、「3」としました。
公平性		●				企業立地振興条例に基づいた助成を実施しており、進出企業への周知を行っていますので、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		各項目評価のとおり、多くの企業に活用いただき、新たな設備投資や雇用の創出に繋がっています。今後も進出企業へ積極的なPRを図っていくとともに、経済動向や効果を勘案し、制度見直しを柔軟に行います。				
		事業終了の 予定の有無				
		無				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010203

事業名		苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会負担金		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	7,345	7,345	11,000	有効性 公平性 効率性 A		
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	7,345	7,345			11,000
	人件費(B)	1,430	1,430	1,430			
事業費計(A+B)	8,775	8,775	12,430				
事業の目的		市民や地元企業などに対して、CCUS（二酸化炭素・回収・有効利用・貯留）・カーボンリサイクルに係る実証試験等のプロジェクトや関連産業に対する地元誘致に対する理解と機運の醸成を図ります。					
事業の内容		SDGs17の目標 13気候変動に具体的な対策を 1 事業の進捗状況や活動等について掲載した機関紙「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会通信Vol.14」を発行しました。 2 市庁舎に設置したモニターでCO2圧入量等の情報公開を行ったほか、パネル展等への後援・協力を行いました。 3 苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会の傘下に新たにゼロカーボングランドデザイン検討部会を設置し、苫小牧市の産業部門におけるグランドデザインを策定すべく活動を行いました。 4 関係機関と連携してスマートエネルギーWEEKに出展しました。 共同出展者：日本CCS調査(株)、苫小牧東部開発連絡協議会、苫小牧地区企業誘致連絡協議会 来場者：会場全体69,261名、苫小牧ブース157名（名刺交換）					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		CCS講演会「地球温暖化とCCS」	人	190	180	0	
		子ども実験教室・夏休み宿題教室	人	102	0	19	
		現場視察会	人	39	20	0	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●			国の「2050年カーボンニュートラル」に向けた方向性とも合致しており、有効性の高い活動であると考えられるため、「4」としました。		
効率性		●			新たにCCUS・ゼロカーボングランドデザイン検討部会を設置し、会員、関係企業・団体と連携を図りながら活動を行っており、「4」としました。		
公平性			●		モニターを活用した情報公開や、事業の進捗状況や活動内容などを掲載した機関紙の発行など、情報発信・広報周知活動に努めており、「3」としました。		
事業の課題 今後の方向性		評価項目のとおりおおむね目的に適った活動を実施できています。国内外含めて、脱炭素やCCUS関連が盛り上がりを見せてきていますので、今後も、事業展開に関連した情報収集等に努め、国や関係機関、地元企業と連携し、更なるプロジェクト誘致に繋がるよう活動を継続してまいります。					
		事業終了の 予定の有無					
		無					
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010204

事業名		立地企業サポート事業		担当部署		産業経済部 港湾・企業振興課	
根拠法令		苫小牧市立地企業サポート事業補助金交付要綱					
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)		46,674	42,452	62,893	有効性 公平性 効率性 A	
	(A)の内訳	国道支出金	5,392	5,392	10,000		
		地方債					
		その他	41,282	37,060	50,200		
		一般財源			2,693		
	人件費(B)		4,291	4,291	4,291		
	事業費計(A+B)		50,965	46,743	67,184		
事業の目的		雇用機会の創出と雇用の安定化を目的として、市内に事業所を有する企業等を対象に、人材確保への支援や雇用環境改善に係る補助や支援を行います。					
事業の内容		市内の立地企業を対象に、従業員の定着率の向上や雇用の安定化を目的とした労働環境の改善のための設備投資や、経営の安定化を目的とした展示会や商談会への出展経費、人材の確保を目的とした就職説明会への出展経費、設備投資に対して補助を行いました。また、ゼロカーボン実現のためのコンサルティング支援を行い、ゼロカーボン促進への機運醸成に向けた事業を実施しています。					
SDGs17の目標		8働きがいも経済成長も 市 市内企業 困りごとの相談・申請 サポート(補助) 働きやすい環境整備 新たな人材の確保 事業・販路の拡大 ゼロカーボンの実現					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
		展示会や商談会への出展経費等の補助件数		件	12	9	10
		合同就職説明会等への参加法人数		社	29	50	41
		労働環境の改善等のための経費の補助件数		件	16	39	31
		ゼロカーボン実現のための設備投資への補助件数		件	6	-	-
		ゼロカーボン支援コンサルティング活用件数		件	26	-	-
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				人材確保への支援や雇用環境改善に繋がるよう周知を行い、多くの企業へ補助を行いましたので、「4」としました。	
効率性			●			これまで、補助上限額を設定するなど、より多くの企業に事業を活用いただけるよう制度の見直しを行うなど、効率化を図りながら事業を実施しているので、「3」としました。	
公平性		●				事前に十分な広報を行い、補助対象企業は選定委員会により決定するなど、公平性を図り事業を実施したため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に適した事業展開ができていますが、より効果的な事業とするため、事業の認知度向上に繋がる取組を実施していきます。今後も継続的に立地企業との意見交換・情報共有を図り、より効果的な事業となるように制度を見直しながら、課題解決に向けて連携・協力・フォローアップを行います。					事業終了の 予定の有無
							有 (時期未定)
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010205

事業名		苦小牧港PR促進事業		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課		
根拠法令		苦小牧港PR促進事業補助要綱					
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	1,000	1,000	1,000		A	
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	1,000	1,000	1,000			
人件費(B)	715	715	715				
事業費計(A+B)	1,715	1,715	1,715				
事業の目的		「みなとオアシス」の区域並びに施設を一体的に利用し地域の賑わいを創出する住民参加型の取組を推進するため、関係機関や市民との連携を図るとともに、関連事業活動の継続性の確保と支援を行い、港湾都市「苦小牧」の活性化に寄与することを目的とします。					
事業の内容		SDGs17の目標   【みなとオアシス苦小牧運営協議会としての事業】※苦小牧港PR促進事業分 - みなとオアシスSea級グルメ全国大会in沼津への出店 - PRの強化 - 親水空間において市民団体によるみなと写生会を開催 - 親水空間の美化による魅力の向上のためマリーゴールド及びペゴニアを花壇への植え付けを実施 - 港に親しむ機会の創出のため、港周辺にて説明を伴ったウォーキングとフェリー船内見学を実施					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		Sea級グルメブース来場者	人	1,337	1,737	0	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4	3	2	1		
有効性		●				みなとオアシスSea級グルメ全国大会に参加し、広く港湾都市苦小牧のPRを実施したため、「4」としました。	
効率性		●				みなとオアシスSea級グルメ全国大会への参加や各種PR事業を様々な内容で実施したため、「4」としました。	
公平性			●			多くの市民と連携しながら事業展開をしたため、「3」としました。	
事業の課題 今後の方向性		今後も「みなとオアシス苦小牧運営協議会」の活動に対する支援を通じ、交流人口や観光客等の増加を図り、苦小牧港のさらなる魅力発信や賑わいの創出を図ります。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

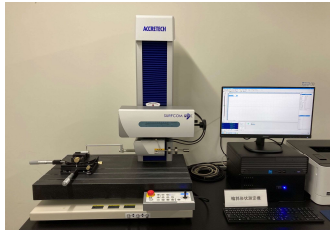
款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010206

事業名		テクノセンター機器整備事業		担当部署		産業経済部 テクノセンター		
根拠法令		苫小牧市テクノセンター条例						
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価
	予算・決算額(A)		10,958	10,843	12,151	有効性 公平性 効率性		A
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	10,958	10,843	12,151			
	人件費(B)		19,427	19,427	19,427			
事業費計(A+B)		30,385	30,270	31,578				
事業の目的		地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化に寄与するため、テクノセンター機器および設備を整備し、その充実を図ります。						
事業の内容		地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化を促進して産業支援を図るためには、継続的に基盤整備が必要であることから、老朽化した既存機器の更新や最新の技術水準に対応した機器の新規導入を計画的に進めております。						
SDGs17の目標		8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう						
事業の内容		1 設備機器の操作法指導及び利用開放を行っております。 2 企業からの依頼による材料試験、検査等を行い、成績書を発行しております。 3 企業の技術力向上に資するため、技術相談や技術指導を行っております。 4 技術研修会や技術講習会を随時開催しております。  輪郭形状測定機（令和5年度新規導入機器）						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		機器利用・依頼試験		件	3,029	1,612	1,014	
		技術相談・技術指導		回	90	98	92	
		技術研修会・技術講演会参加者		人	213	132	235	
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				令和5年度における企業による機器利用や依頼試験は3,000件を超え、企業ニーズに据えていると評価できますので、「4」としました。		
効率性			●			設備機器が高額化している状況にあるため、「3」としました。		
公平性		●				利用者から使用料又は手数料を納めていただき、受益者負担としているので、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		地域企業においては、人材不足感が高まるなか、競争力強化のための技術力向上や生産技術の高度化が必要となっており、なお一層の技術支援や最新設備の充実がテクノセンターに求められています。一方、設備機器の高機能化に伴い導入費用も高額化していることから、各種補助金などの利用も検討します。						事業終了の 予定の有無
								無
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010207

事業名		苫小牧クルーズ振興協議会補助		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課				
根拠法令		苫小牧クルーズ振興協議会補助金交付要綱							
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	有効性 公平性 効率性	総合評価 A		
	予算・決算額(A)	1,000	1,000	1,000					
	(A)の内訳								
	国道支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源	1,000	1,000	1,000					
人件費(B)	715	715	715						
事業費計(A+B)	1,715	1,715	1,715						
事業の目的		苫小牧港に入港するクルーズ船の歓迎体制を構築することにより、クルーズ船文化の創造を図り、更なるクルーズ船の入港に繋げるとともに、苫小牧港の新たな魅力の発信と地域振興及び観光振興に寄与することを目的とします。							
事業の内容		【苫小牧クルーズ振興協議会として実施した事業】 - クルーズ船入港時における受入対応 - 令和5年5月にドイツのクルーズ船社が運航する「ハンセアティック・ネイチャー」、9月に「につぼん丸」が入出港し歓迎セレモニーやみなとまちマルシェを開催し賑わい作りを実施 - クルーズ船誘致活動 - クルーズ船誘致活動に向けた船社及び旅行代理店等に対する継続的な訪問活動の実施 ○R5年度実績 ー 日本籍船社訪問：2社／外国籍船社訪問：1社／旅行代理店：1社 - 地域連携の推進 - 白老港と連携した受入対応に係る企画・運営の実施 - 官学連携によるおもてなし体制の構築 - 他港湾への視察 - 室蘭港、函館港、清水港							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
		クルーズ船入港回数		回	2	0	0		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				クルーズ船2隻3ツアーの入出港時に賑わい創出及び更なるクルーズ船の入港に繋げるため誘致活動を実施したため「4」としました。			
効率性		●				クルーズ船2隻3ツアーの入出港時に賑わい創出を3回、クルーズ船の入港に繋げるため誘致活動を4社へ実施したため「4」としました。			
公平性			●			多くの市民と連携しながら事業展開をしたため「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		関係部局との連携強化や積極的な情報収集等により、地域の安全・安心とスムーズなクルーズ船の入港に配慮した受入体制の構築を目指します。その上で、関係団体と連携し、クルーズ船入港時における歓迎体制の充実化と、地域の潜在的なクルーズコンテンツの魅力の発見などに取り組み、苫小牧港の魅力発信と地域振興に努めます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号

07010208

事業名		苦小牧市テクノセンター機器等整備基金積立金		担当部署		産業経済部 テクノセンター		
根拠法令		苦小牧市テクノセンター機器等整備基金条例						
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)		1,250	1,237	925	有効性 公平性 効率性 A	A	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他	1,250	1,237	925			
		一般財源						
	人件費(B)		1,782	1,782	1,782			
事業費計(A+B)		3,032	3,019	2,707				
事業の目的		テクノセンターの自律的な企業支援体制を構築するために、令和元年度経済産業省地域イノベーション基盤整備事業にて導入した機器の利用料および手数料収入の一部を、将来の機器整備等に要する費用の財源に充てます。						
事業の内容		SDGs17の目標						
8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう		令和4年度末基金残高 1,848,091円						
		令和5年度基金積立金 1,237,361円						
		令和5年度基金取崩し額 0円						
		令和5年度末基金残高 3,085,452円						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度
		基金の年度末残高			千円	3,085	1,848	821
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				地域企業の工業技術の高度化促進のために必要な測定機器等の整備に要する費用の財源に充てる事業なので、「4」としました。		
効率性			●			10年程度の積立期間を想定しているのに対して、近年は導入を検討している機器等の価格が高額化する状況にあるため、「3」としました。		
公平性		●				財源はテクノセンター使用料および手数料から充当しており、受益者負担としているため、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		地域企業においては、競争力強化のための技術的向上や生産技術の高度化が必要となっており、より一層の技術支援や最新設備の充実がテクノセンターに求められております。一方でテクノセンターに導入すべき設備機器も年々高額化していることから、本事業の他に各種補助金などの活用も検討します。						事業終了の 予定の有無
								無
特記事項								

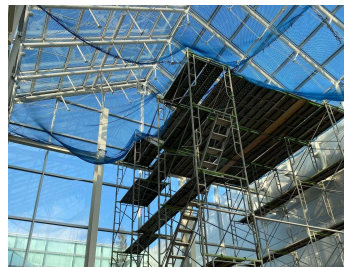
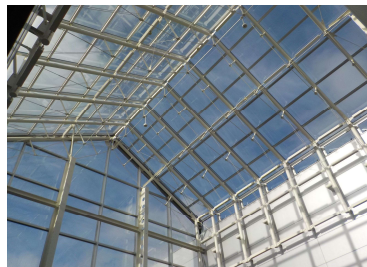
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010209

事業名		テクノセンター施設整備事業		担当部署		産業経済部 テクノセンター	
根拠法令		苫小牧市テクノセンター条例					
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)		18,997	18,997	-	有効性 公平性 効率性 B	
	(A)の内訳	国道支出金	6,000	6,000			
		地方債	11,700	9,700			
		その他					
		一般財源	1,297	3,297			
	人件費(B)		2,256	2,256	-		
事業費計(A+B)		21,253	21,253	-			
事業の目的		築後24年が経過するテクノセンターの交流展示ロビーは雨漏りがひどく、天井ガラスにはひび割れが発生しております。ロビー床面は濡れると滑りやすく、また天井ガラスのひび割れはガラスの落下も懸念されることより、電源立地地域対策交付金を活用し、劣化破損部の改修を行うものです。					
事業の内容		テクノセンター交流展示ロビーの雨漏り、天井ガラスのひび割れ対策工事を実施しました。なお、これらの改修にあたっては、経済産業省資源エネルギー庁電源立地地域対策交付金を活用しました。					
SDGs17の目標		1 テクノセンター交流展示ロビーの雨漏り補修工事（シーリング等） 2 テクノセンター交流展示ロビー天井ガラスのひび割れ対策工事（ガラス交換94枚）					
8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう		  【工事実施状況】 【工事完了状況】					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
		技術相談・技術指導		回	90	98	92
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				老朽化が進み危険な状態となっていたテクノセンター交流展示ロビー天井ガラスの交換工事を行い、地域企業および利用者の安全・安心を確保できたことから、「4」としました。	
効率性			●			交付金を有効に活用したものの、老朽化した施設は今後も継続的な補修工事が必要となるため、「3」としました。	
公平性			●			全てのテクノセンター利用者にとっての安全・安心を確保できたことから、「3」としました。	
事業の課題 今後の方向性		本事業によって、テクノセンターをより一層安全にご利用頂ける状況となり、結果として技術支援業務を安定的に行うことが可能になったものと評価しております。今後も、交付金等の活用を検討しつつ、テクノセンター施設の修繕を適切に実施して、利用者の安全確保に努めていきます。					
		事業終了の 予定の有無					
		無					
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010210

事業名		テクノセンターゼロカーボン事業		担当部署		産業経済部 テクノセンター		
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価
	予算・決算額(A)		5,115	4,422	-	有効性 公平性 効率性	B	
	(A)の内訳	国道支出金	2,494	2,157				
		地方債	2,300					
		その他						
		一般財源	321	2,265				
	人件費(B)		1,782	1,782	-			
	事業費計(A+B)		6,897	6,204	-			
事業の目的		2050年までのゼロカーボンシティ宣言にもとづき、市有施設におけるCO2排出量を削減するため、テクノセンター施設内の照明器具をLED型器具に交換します。						
事業の内容		テクノセンターの事務室や各実験室など、利用時間が長く節電効果の高い合計7室の照明器具を、調光機能付きLED型器具に交換しました。なお、これらの実施にあたっては環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用しました。						
SDGs17の目標		テクノセンター照明LED化工事（照明器具59台交換）						
8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを 13気候変動に具体的な対策を		 【調光用コントローラ】  【LED型器具】						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度
		技術相談・技術指導			回	90	98	92
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性			●			老朽化が進み照度も低下していたテクノセンター内の照明器具のLED化工事を行い、ゼロカーボン化はもちろん施設利用者の作業環境も改善できたことから、「3」としました。		
効率性			●			交付金を有効に活用したものの、今回の事業での交換対象とならなかった老朽化した器具がまだ多く残っているため、「3」としました。		
公平性			●			ゼロカーボン化の推進のみならず、全てのテクノセンター利用者にとっての環境改善を行うことができたことから、「3」としました。		
事業の課題 今後の方向性		市内の温室効果ガス排出量の7割は工場などの産業部門によるものです。産業分野に従事している方の利用が多いテクノセンターの照明をLED化することで、当市の省エネ化に対する率先的な取り組み姿勢を示すことができたものと評価しており、今回の事業で交換対象とならなかった照明についても引き続き節電効果の高い器具に交換していきます。						事業終了の 予定の有無
								有 (令和5年度)
特記事項								

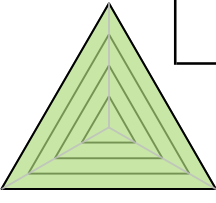
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010211

事業名			次世代半導体関連企業PR事業			担当部署		産業経済部 港湾・企業振興課		
根拠法令										
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)		1,102	997	5,619	有効性  公平性 効率性		A		
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他								
		一般財源	1,102	997	5,619					
	人件費(B)		3,576	3,576	3,576					
事業費計(A+B)		4,678	4,573	9,195						
事業の目的			次世代半導体工場（ラピダス）の立地に伴い、関連企業に対し戦略的かつ実効性の高い誘致活動を展開していくため、進出拠点の候補地としての認知度向上及び企業進出の可能性を高める取組を行います。							
事業の内容 SDGs17の目標			ラピダス社の千歳進出が決定し、半導体関連産業がラピダスを中心に集積してくることが想定され、本市への影響も大きなものになるであろうと考えていることから、戦略的に企業誘致を実施するため、まずは関連産業に対しラピダス社立地場所から見た本市の優位性等についてパンフレットを作成・送付しPRを実施しました。 1 対 象 半導体関連企業 2,000社 2 送付内容 ・案内文 ・パンフレット（工業団地、インフラ、住環境など8面） ・苫小牧市企業立地振興条例に基づく助成金リーフレット ・東胆振移住リーフレット ・A4封筒にオリジナルデザイン							
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
			パンフレット送付件数		件	2,000	-	-		
項目評価			高 → 低		評価の理由					
			4	3					2	1
有効性			●			進出の波が動き出してから本格的に着手するのでは遅いと考えており、9月補正にて早期に事業着手したことから、「4」としました。				
効率性			●			現状では、本事業により進出に至った企業はございませんが、1件の進出により事業費を上回る税収や雇用、地域経済の活性化といった大きな効果が見込まれることから、「4」としました。				
公平性			●			全国に本市情報を発信し企業誘致を進めており、新規企業立地の経済効果は多大であり、公平性は保たれていることから、「4」としました				
事業の課題 今後の方向性			単年の事業では効果が見込めないことから、次年度以降も継続してPR事業を実施したいと考えております。次年度事業については、本事業で距離感や優位性を知ってもらった次のステップとして具体的な進出に関するニーズ調査を行いながら、進出可能性が高い誘致対象となりえる関連企業を見定め、積極的かつ多角的なPR活動を実施していく予定としております。						事業終了の 予定の有無	
									無	
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010301

事業名			港まつり事業		担当部署	産業経済部 観光振興課		
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価
	予算・決算額(A)		8,795	8,190	9,000	有効性 公平性 効率性		A
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	8,795	8,190	9,000			
	人件費(B)		17,200	17,200	17,200			
事業費計(A+B)		25,995	25,390	26,200				
事業の目的			市内最大のイベントである「とまこまい港まつり事業」に対する補助金です。例年多くの市民の皆さんが参加され、大いに楽しまれています。ふれあいや隣人愛、郷土愛を育む市民をあげてのまつりであり、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的としています。					
事業の内容			1 中央公園（若草町）のメイン会場では、ステージ行事を始め、約130店舗の露店や、各会場での協賛行事などにより、令和5年度の来場者は32万人でした。 2 とまみん苦小牧百年花火では、新たな試みとして音と光のコラボにより約8,800発の花火を打ち上げ、事前のPR効果もありたくさんの方々には花火を楽しんでいただくことができました。 3 ステージ行事では、「よしもと お笑いライブ」や恒例の「駒澤大学附属苦小牧高等学校吹奏楽局」のステージを実施し、超満員の賑わいを見せました。					
SDGs17の目標			8 働きがいも経済成長も 17 パートナリシップで目標を達成しよう 					
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
			来場者数		人	320,000	300,000	コロナにより中止
項目評価			高 → 低				評価の理由	
			4	3	2	1		
有効性			●				本市の夏の最大のイベントであり、市民のほか、市外からの来場者が多く、有効性の高いイベントです。	
効率性			●				約32万人の来場が見込まれ、地域経済の活性化が大きく見込めます。	
公平性			●				全市民に参加・来場の機会が平等にあり、一律の利益も見込めます。	
事業の課題 今後の方向性			令和5年度は約32万人の来場者があり、地域経済の活性化として、事業の有効性は高いと考えています。					事業終了の 予定の有無
								無
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010302

事業名			スケートまつり事業		担当部署	産業経済部 観光振興課		
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価
	予算・決算額(A)		6,211	5,700	6,000	有効性 公平性 効率性		A
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	6,211	5,700	6,000			
	人件費(B)		13,918	13,918	13,918			
事業費計(A+B)		20,129	19,618	19,918				
事業の目的			冬の一大イベントである「とまこまいスケートまつり」に対する補助金です。『氷都ととまこまい』を市内外にPRする冬の一大イベントで、市民はもちろん、市外からもたくさんの方が訪れています。特に「しばれ焼き」は苦小牧の名物として広く愛され、子供達が楽しめるアトラクションも多く、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的としています。					
事業の内容			1 中央公園（若草町）をメイン会場としステージ行事を始め、47店舗の露店や、各会場での協賛行事などにより令和5年度の来場者は6.2万人でした。 2 ステージ行事ではよしもと お笑いライブやキャラクターショー、市民参加型企画のビンゴ大会を実施し超満員の賑わいを見せました。					
SDGs17の目標			8 働きがいも経済成長も 17 パートナリシップで目標を達成しよう 					
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
			来場者数		人	62,000	60,000	0
項目評価			高 → 低				評価の理由	
			4	3	2	1		
有効性			●			本市の冬の最大のイベントであり、市民のほか、市外からの来場者が多く、有効性の高いイベントです。		
効率性			●			約6万人の来場が見込まれ、地域経済の活性化が大きく見込めます。		
公平性			●			全市民に参加・来場の機会が平等にあり、一律の利益も見込めます。		
事業の課題 今後の方向性			令和5年度は約6.2万人の来場者があり、地域経済の活性化として、事業の有効性は高いと考えています。					事業終了の 予定の有無
								無
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010303

事業名		観光振興ビジョン推進事業		担当部署	産業経済部 観光振興課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)		17,440	15,846	18,941	有効性 公平性 効率性 A	A	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他	13,900	7,019	9,400			
		一般財源	3,540	8,827	9,541			
	人件費(B)		20,738	20,738	20,738			
事業費計(A+B)		38,178	36,584	39,679				
事業の目的		平成28年2月策定の「苦小牧観光振興ビジョン」を推進し、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指します。						
事業の内容		1 観光事業者等支援事業：本市事業者への道外販路拡大の情報提供を行いながら、市外での出店補助を行い、本市への誘客促進に繋がりました。また、本市の産業施設等を撮影スポットとして開放するコスプレフェスタを開催することで、経済波及効果がありました。 2 外国人観光客誘致事業：北海道ゴルフツーリズムコンベンションが実施した海外ゴルフ関係者を招へいた意見交換会に参加し本市の魅力について直接意見を伺うことができました。 3 観光誘客促進業務委託事業：本市の特色ある産業を観光資源とした花火&産業夜景バスツアーの開催や本市事業者とともに道外の商談会参加や旅行事業者を訪問するなど、誘客促進活動を行いました。また、観光モデルルート造成事業として、苦小牧市の誘客コンテンツの磨き上げやこれまでのコンテンツとして認識されていなかったものの再発見を目指すツアーを実施しました。さらにアニメツーリズム推進事業では、本市とゆかりのあるアニメ作品とコラボレーションし、本市の知名度向上を図りました。 4 観光案内業務強化事業：樽前ガローの案内看板の書き換えなど訪問者への観光案内の強化を図りました。 5 観光情報発信強化事業：本市の魅力を広く情報発信し、国内外からの観光入込客のさらなる増加を図るため、雑誌やメディアを活用した観光情報の発信力強化を図りました。 6 たるまえサンフェスティバル補助金 7 苦小牧市MICE誘致推進協議会補助金 8 とまこまいフィルムコミッション事業費：各種撮影を通し、苦小牧を広くPRするため、映像製作者への各種支援を行い、本市におけるロケーション撮影が円滑に行われる環境を整え、支援を通じ地域振興及び地域経済の活性化を図りました。 9 とまこまいコスプレフェスタ補助金						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度
		観光入込客数			千人	2,636	2,131	1,482
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				アニメ作品とのコラボレーションやコスプレフェスタなどを開催することにより本市の知名度向上が図られ、広く情報発信することにより誘客促進につながり事業の目的を達成しています。		
効率性		●				限られた観光資源を生かし、市外、道外に向けて観光情報を発信することにより、最大限の効果が得られています。		
公平性		●				知名度が向上し、交流人口が増加することで、全市民に利益があります。		
事業の課題 今後の方向性		インバウンドの誘客やアニメ作品等を活用した誘客事業など、本市を幅広くPRすることができ、観光振興ビジョンを推進していく上で、非常に効果が高いと考えています。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

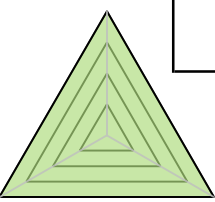
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010304

事業名		ウトナイ交流センター補償金		担当部署	産業経済部 観光振興課	
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,117	1,116	-		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,117	1,116			
	人件費(B)	715	715	-		
事業費計(A+B)	1,832	1,831	-			
事業の目的		新型コロナウイルス感染症による施設の減収に対する損失補填を目的としています。				
事業の内容 SDGs17の目標		 補償金積算 令和元年度収入計 16,760,299円① 令和4年度収入計 15,644,115円② ①-②の差を補償金額とする 1,116,184円				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度
項目評価		高 → 低	評価の理由			
	4	3	2	1		
有効性	●				当施設を適正に運営するためには必要な補償です。	
効率性	●				当施設の運営に必要最低限の補償内容です。	
公平性	●				当施設が適正に運営されることにより、全市民並びに観光客に一律の利益があります。	
事業の課題 今後の方向性		新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、事業終了予定です。				事業終了の 予定の有無 有 (令和5年度)
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010305

事業名		ウトナイ交流センター電気料金高騰支援補償金		担当部署	産業経済部 観光振興課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	204	204	-	有効性 公平性 効率性	A			
	(A)の内訳								
	国道支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源	204	204						
人件費(B)	715	715	-						
事業費計(A+B)	919	919	-						
事業の目的		原油価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げに伴う指定管理者への補償をする事業です。							
事業の内容 SDGs17の目標		3 すべての人に 健康と福祉を 補償金積算 令和5年4月～令和6年3月 203,745円							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3				2	1	
		有効性	●				当施設を適正に運営するためには必要な補償です。		
		効率性	●				当施設の運営に必要最低限の補償内容です。		
公平性	●				当施設が適正に運営されることにより、全市民並びに観光客に一律の利益があります。				
事業の課題 今後の方向性		電気料金の高騰の動向を注視していきます。				事業終了の 予定の有無			
						有 (令和5年度)			
特記事項									